

2019年度 日本気象学会関西支部 第2回例会（中国地区）

日時：2019年12月21日（土） 12:50～18:05

会場：岡山大学環境理工学部101講義室

研究講演会プログラム

1 鈴：8分、2 鈴：10分、3 鈴12分

12:50 開会挨拶 岩田 徹（日本気象学会関西支部・中国地区理事、岡山大学環境理工学部）

13:00～14:25 セッション1（降水、霧、雪）

座長：重田 祥範

- 1 梅雨から盛夏への季節進行の中でみる「日々の降水の特徴や変動」に関する長期解析
山磨貴登（岡山大学教育学部（理科））、加藤 内藏進、松本 健吾、大谷 和男
- 2 中国・四国地方における集中豪雨事例の抽出とその特徴の解析
山田 将輝（岡山大学大学院自然科学研究科）、野沢 徹
- 3 中国地方で夏季静穏日の午後に発生する短時間強雨の降水特性
大山 まど薫（広島地方気象台）
- 4 湿数を用いた霧の発生・消滅過程の推定—岡山県津山盆地を例として—
重田 祥範（公立鳥取環境大学環境学部）
- 5 岡山市中心部で大雪となる場合の気象場の特徴について
稲澤 睦美（岡山大学理学部）、川瀬 宏明、野沢 徹
- 6 札幌において雲が融雪に与える効果
田村 多佳基（岡山大学理学部）、青木 輝夫、野沢 徹、庭野 匡思、的場 澄人、兒玉 裕二、谷川 朋範
- 7 渦位の解析事例
牧田 広道（松山地方気象台）、佐藤 信

14:30～15:45 セッション2（境界層、地表面）

座長：大橋 唯太

- 8 岡山平野における大気汚染濃度の時空間分布の特徴—海風吹走パターンによる違い—
宮田 晶（公立鳥取環境大学環境学部）、重田 祥範
- 9 冬型時の北陸付近での降水に関わる大気環境からみる初冬と真冬の比較（1983/84年冬における事例解析）
熊谷 龍慶（岡山大学教育学部（理科））、加藤 内藏進、西村奈那子、大谷 和男
- 10 宇都宮市で発生するヒートアイランド現象と土地被覆形態の関係性
毛塚 大樹（公立鳥取環境大学環境学部）、重田 祥範、瀧本 家康
- 11 土壌水分量変化から推定する蒸発量と降水浸透量
村尾 隆一（岡山大学環境理工学部）、南 勇銘、竹下 祐二、岩田 徹
- 12 河川堤防における蒸発量推定モデルの構築
南 勇銘（岡山大学環境理工学部）、村尾 隆一、竹下 祐二、岩田 徹
- 13 UAV及び光学データを用いた沿岸藻場の分類解析
白石 朗光（岡山大学大学院環境生命科学研究所）、齋藤 光代、濱 侃、岩田 徹

15:50～17:05 セッション3（暑熱、作物、文化）

座長：野沢 徹

- 14 放飼下のヤギを対象とした利用率と気象変化の関係—暑熱ストレスに着目して—
松原 甲斐（公立鳥取環境大学環境学部）、重田 祥範
- 15 温熱指標でみた夏季の熱中症リスクの地域性と将来予測
岩元 勇樹（岡山理科大学大学院生物地球科学研究科）、大橋 唯太
- 16 有田と宇和島の気候がウンシュウミカンの果実肥大と糖度に与える影響
鶴久森 英輔（岡山理科大学大学院生物地球科学研究科）、大橋 唯太
- 17 カンキツ類栽培を対象とした冬季低温の局地シミュレーション
大橋 唯太（岡山理科大学生物地球学部）、植山 秀紀
- 18 温暖化と生物季節観測
牧田 広道（松山地方気象台）、渡邊 朋紀
- 19 ドイツ・北欧と日本の「夏」の気候と季節感の違いに注目した大学での授業実践
—ESD 的視点の育成へ向けた気候と音楽との学際的連携—
加藤 内藏進（岡山大学大学院教育学研究科（理科））、加藤 晴子、大谷 和男

17:10～18:00 特別講演

司会：岩田 徹

大気陸面データ同化による局地循環性降水の予測精度向上に向けて
辻本 久美子（岡山大学大学院環境生命科学研究所）

18:00 閉会挨拶（近年の気象災害について）

川真田 正宏（日本気象学会関西支部・中国地区理事、広島地方気象台長）

18:30～ 懇親会 ふじこや (<https://www.hotpepper.jp/strJ001217423/>)

以上